

MAR-0004-2104

SL シリーズ

自家発・コージェネディーゼル機関専用油

最近の中速ディーゼル機関は高出力化、高Pmax化が顕著です。加えて低質燃料の使用されるケースも多くなっており、従来の機関に比べ熱負荷が上昇しています。とくに高負荷、低質燃料、長期間連続運転を強いられる陸用コージェネ用機関は過酷な運転条件にあります。

このような過酷な機関を清浄に保ち、良好な機関性能を維持するためには、熱安定性や高温清浄性に優れた潤滑油を用いることが望まれます。「SLシリーズ」は、船用潤滑油よりもさらに高温清浄性その他必要性能を強化した自家発・コージェネディーゼル機関用の専用油です。

●特長

1. 高温清浄性および熱安定性が優れています

中速ディーゼル機関は、高出力化が進む一方で、硫黄分や残渣分の多い低質重油を使用する傾向にあります。このような高出力でしかも低質重油を使用する機関では、機関の熱負荷が上昇するため、カーボンやスラッジが生成しやすく、これらが機関各部に付着、沈積し、リング固着などを引き起こす原因になります。

SLシリーズは、これらの生成したスラッジやカーボンを油中に分散させ、かつ高温においてもピストンをはじめ機関各部を清浄に保つ強力な清浄分散剤を配合しました。



MDL SL使用
8,000時間後のアンダークラウン



従来品使用
8,000時間後のアンダークラウン

2. 酸中和性が優れています

燃料中の硫黄分が燃焼することにより生成する硫酸は、エンジンライナおよびピストンリングの摩耗、クランクジャーナル、ピストンピン、ベ

アリングメタルの腐食を引き起こします。

SLシリーズは、このような腐食性酸類を中和し、その腐食性を消失させる強力な酸中和性を備えています。

3. 水分離性に優れています

ブローバイガス中の水分の凝縮、遠心清浄機不調、冷却水の漏れなどにより、エンジン油には水分が混入します。水が混入すると、添加剤として含まれている炭酸カルシウムが粗粒化し、酸中和能力が低下したり、遠心清浄機の不調やフィルタの目詰まりをもたらします。

SLシリーズは、これらの弊害をおさえるため、水分離性についても考慮していますので、遠心清浄機による水との分離が簡単に行えます。

4. 遠心清浄機における作業性に優れています

遠心分離機の分離板に付着したスラッジも非常にやわらかく、比較的取れやすい状態になっています。このためスラッジの除去作業に時間がかからず、作業性に優れています。

●荷姿

中味、200lドラム、20l缶（SL440を除く）

●SLシリーズの代表性状

種 類	SL140	SL240	SL340	SL440
色 (ASTM)	L2.5	L3.5	L4.0	L5.0
密度 (15°C) g/cm ³	0.894	0.901	0.910	0.916
動 粘 度 (40°C) mm ² /s	150	147	141	146
(100°C) mm ² /s	14.9	14.9	14.5	15.0
粘 度 指 数	99	101	101	103
引 火 点 (COC) °C	264	268	266	270
流 動 点 °C	-10	-10	-15	-15
酸 価 mgKOH/g	1.3	1.3	1.3	1.7
塩 基 価 (過塩素酸法) mgKOH/g	11.9	23.2	34.7	40.8
さび止め性(蒸留水, 60°C, 24h)	さびなし	さびなし	さびなし	さびなし
銅 板 腐 食 (100°C, 3h)	1	1	1	1
泡 立 ち 性 (シーケンスII) mL/mL	0/0	20/0	10/0	10/0
消防法危険物分類	第4石油類			

※代表性状値は、商品の改定等により予告せずに変更場合があります。(2018年1月)



取扱上の注意

▼取扱いについては下記の注意事項に従って行って下さい。

成分：	潤滑油基油、潤滑油添加剤
絵表示：	なし
注意喚起語：	なし
危険有害性情報：	なし
注意書き： 安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 ・眼に入れないこと。飲み込まないこと。 ・取り扱い後はよく手を洗うこと。 ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置	<ul style="list-style-type: none"> ・飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。 ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 ・眼に入った場合：多量の流水で洗眼し、直ちに医師に連絡すること。 ・皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
保管	<ul style="list-style-type: none"> ・直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。 ・一度栓を開けた容器は必ず密栓しておくこと。
廃棄	<ul style="list-style-type: none"> ・内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。 ・不明な場合は購入先にご相談の上処理すること。